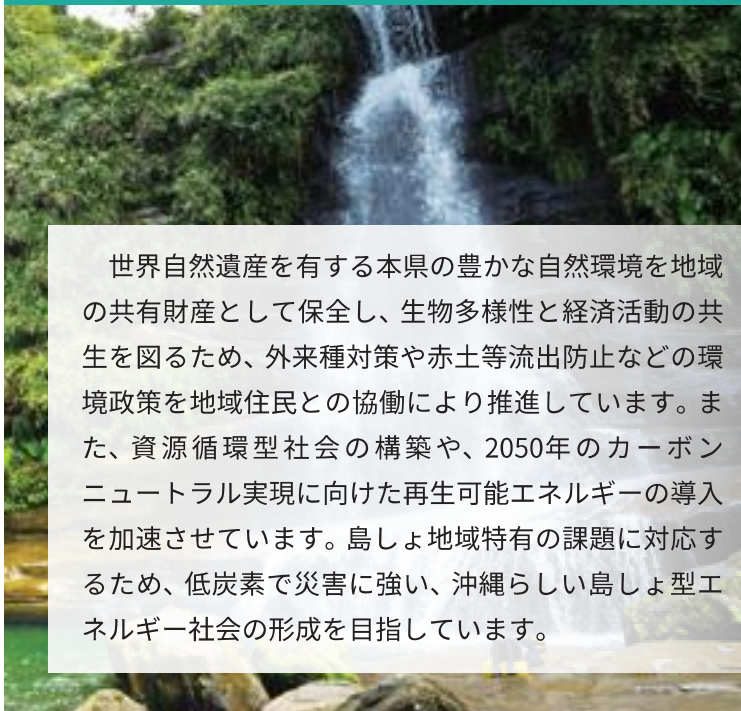


HIGHLIGHT

3. ユイマール×地球(Planet)

～次世代につなぐ豊かな「美ら島」～



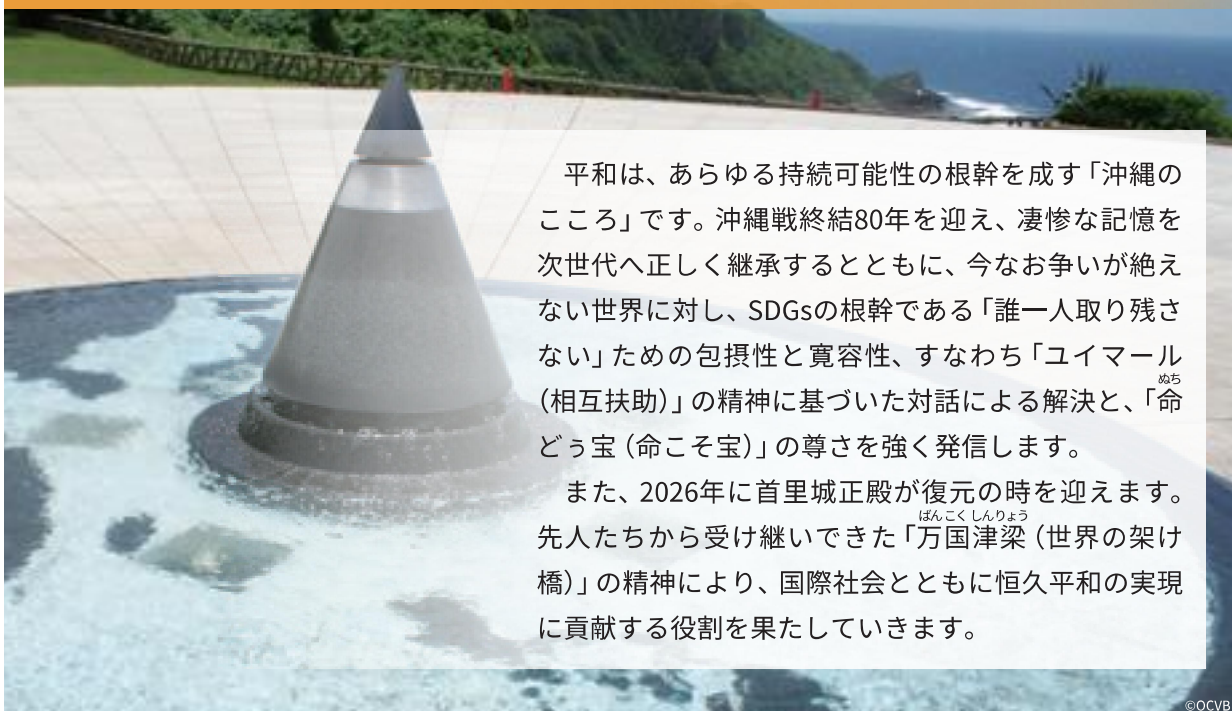
世界自然遺産を有する本県の豊かな自然環境を地域の共有財産として保全し、生物多様性と経済活動の共生を図るため、外来種対策や赤土等流出防止などの環境政策を地域住民との協働により推進しています。また、資源循環型社会の構築や、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギーの導入を加速させています。島しょ地域特有の課題に対応するため、低炭素で災害に強い、沖縄らしい島しょ型エネルギー社会の形成を目指しています。



©OCVB

4. ユイマール×平和(Peace)

～世界へ広げる「命どう宝(命こそ宝)」の輪～



平和は、あらゆる持続可能性の根幹を成す「沖縄のこころ」です。沖縄戦終結80年を迎え、凄惨な記憶を次世代へ正しく継承するとともに、今なお争いが絶えない世界に対し、SDGsの根幹である「誰一人取り残さない」ための包摂性と寛容性、すなわち「ユイマール(相互扶助)」の精神に基づいた対話による解決と、「命どう宝(命こそ宝)」の尊さを強く発信します。

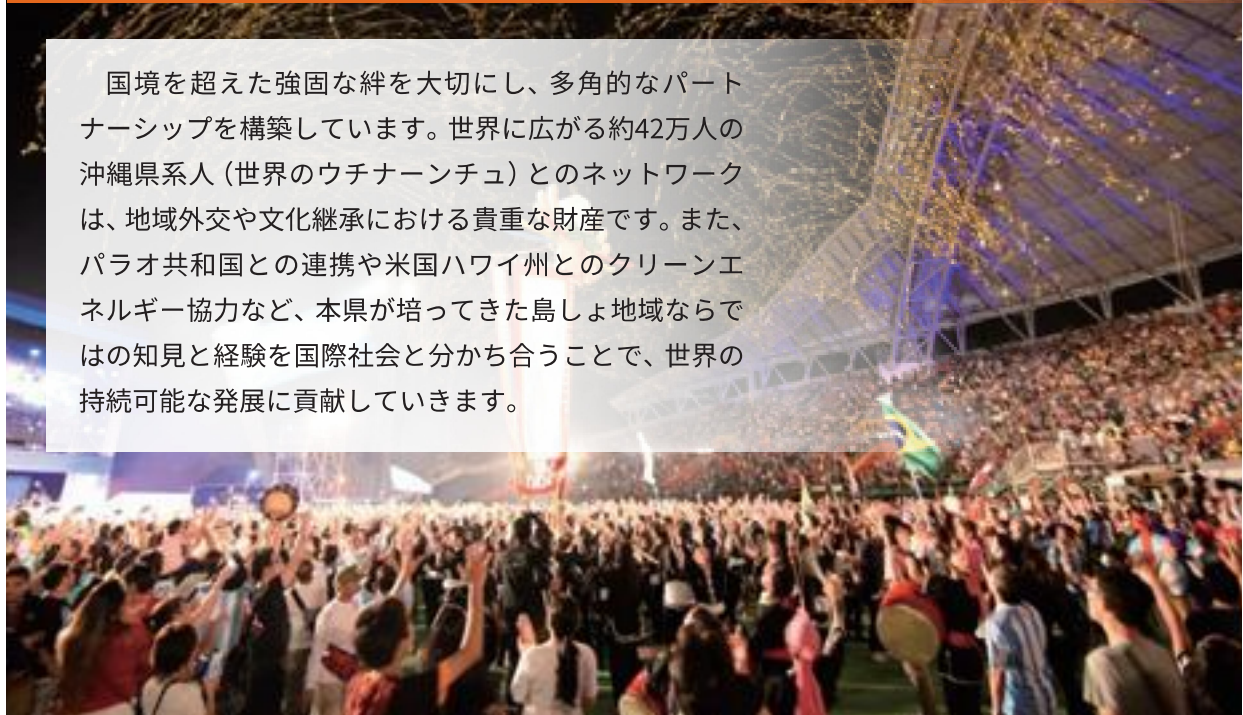
また、2026年に首里城正殿が復元の時を迎えます。先人たちから受け継いできた「万国津梁(世界の架け橋)」の精神により、国際社会とともに恒久平和の実現に貢献する役割を果たしていきます。

©OCVB

5. ユイマール×パートナーシップ (Partnership)

～島しょの知恵を世界へと分かち合う～

国境を超えた強固な絆を大切に、多角的なパートナーシップを構築しています。世界に広がる約42万人の沖縄県系人（世界のウチナーンチュ）とのネットワークは、地域外交や文化継承における貴重な財産です。また、パラオ共和国との連携や米国ハワイ州とのクリーンエネルギー協力など、本県が培ってきた島しょ地域ならではの知見と経験を国際社会と分かち合うことで、世界の持続可能な発展に貢献していきます。



ユイマール（相互扶助）の精神で紡がれたこれらの取組は、沖縄が2030年を期限とする目標達成への道筋、さらにはその先の未来を見据え、誰一人取り残さない社会へと続く確かな軌道にあることを示しています。続く第1章以降では、本県が設定した12の優先課題に基づいた詳細な分析を通じて、私たちが目指す「美ら島^{ちゅしま}」おきなわへの道筋を提示します。